

## 飯山市図書館協議会 顛末

- 開催日 平成28年3月9日(水)午後3時～
- 開催場所 飯山市公民館101 会議室
- 出席者 委員：西川委員 吉越委員 鷺尾委員 西田委員  
丸山委員 宮崎委員 芳川委員(欠) 阿部委員(欠)  
小澤委員(欠) 委員6名出席  
市側：長瀬教育長 石田文化振興部長 荻原館長 柳係長  
佐藤司書

### 1 開会 (荻原館長)

協議事項に入りますまで、館長(荻原)私の方で進行を務めさせていただきます。  
よろしくお祈いします。

### 2 あいさつ (西川会長)

西川協議会長よろしくお祈いします。

寒い中お集まりいただき、ありがとうございます。

図書館のスタッフの方たちが一生懸命図書館運営をおこなっていただいています。  
本日は27年度の事業報告等について、ご審議をいただきたいと思ひます。

(荻原館長)

ありがとうございます。続きまして、長瀬教育長挨拶をお祈いします。

(長瀬教育長)

忙しい中ありがとうございます。

飯山の図書館も色々蔵書が増えまして、課題としまして笹本先生から何万冊の本  
をご寄贈いただき、最終的には閲覧場所を検討していく形になると思ひます。今担  
当の中で少しずつ第三中学校の教室の方へ移動していますが、まだ、5、6年はか  
かると思ひますが、あるという事を頭の中に入れておいて検討する時期になりましたら  
お祈いします。

いずれにしても、図書館はその地域の文化度のバロメーターになると地味ではあ  
りますが、大事な場所であると思ひてお祈います。また今年、来年度そして皆さんの  
ご意見をお祈いします。

### 3 協議 (議事進行 西川会長)

(1)平成27年度の事業報告について

柳係長(資料に基づき説明)

西川会長 事業報告について質問、ご意見などありますか。

荻原館長 利用状況につきましては、昨年度3月31日までの数字で、今回は2月29日までまだ、3月分が残っている状況ではありますが、若干減っているのかなという状況です。

西川委員 図書館貸出システムについて、27年度に1年の再リースを行っているが、今後の1年づく延長していくのか。

荻原館長 当初契約の段階では、1年の延長までできる保証する事と形になっているので延長は1年まで、28年度はシステム更新になるという形になります。

システムが8月31日まで9月1日より新しいシステムで稼働させる形になります。また、どういうシステムを選ぶという事になりますが、今の図書カードの運用が可能であって、今までのデータが移行できるシステムへととなります。リースで、システム更新になりますと金額的にも若干あがるのかなという部分です。ただ図書館システムというのは特殊ですので現状を維持しながら同等以上にしていきたい。学校の図書館システムについては28年度構築する予算を3月議会に提案しています。学校の貸出システムは学校内の図書を管理するシステムであり、飯山図書館と連携してネットワークでつながる形まではまだいかない。

## (2)平成28年度の事業報告について

①運営方針（案）について

②事業計画（案）について

柳係長 （資料に基づき説明）

### ○移動図書館車ゆきつばき号の巡回コース見直しについて

・平成28年度 移動図書館ゆきつばき号巡回日程についてですが、2か所程変更させていただきました。4コースの大川ふれあい交流センターと水上団地を新たに2カ所加えまして、山口、市ノ口が利用者が少ないという事でとりやめになりました。

### ○図書館の蔵書点検及び貸出システム更新について

・7ページご覧いただきまして、平成28年度の蔵書点検が5月26日～6月8日までを予定しております。また、新しい図書館システムの更新という事で8月18日～8月31日まで2週間程システム更新に期間がかかるという事でこの期間は貸し出しができない。ただ、閲覧室、学習室につきましては開館させていただきます。ただし8月30、31日の2日間については完全に閉めさせていただいて研修等をおこなうという形になります。

長瀬教育長 教育大綱にもうたっているが、学校と連絡をとって読書活動を推進し、具体的に子どもが本を借りる数を増やす必要がある。

荻原館長 学校司書と市立図書館司書で連絡会を常におこなってますので、その中でうまく調整をしていきたいと思っております。

吉越委員 長瀬教育長が児童書を学力のベースとしてたくさん本を読むことが重要といわれました。学校でも、保護者に対して司書のみなさんに支援をしていただきたいいただきたいという希望がありますが何処へ言ったらいいのか。読書セラピスト協会など、大人向けの絵本講座もキャンセル待ちになるほど、ブームとなっている。家庭でも一緒に読書をしている姿がほしい。

荻原館長 読書の部分では、お母さんと最初に関わるブックスタート生後5か月のお子さんに絵本をプレゼントしますよという事で、お母さんに図書館に来ていただいてプレゼントする時に、絵本の選び方であったり、読書はこういう形で子どもたちに重要なんだという部分で、まずはテレビを消して30分でも20分でもいいのでテレビを消して家族全体で、テレビをつけながら子どもに読み聴かせるのではなくて、テレビを消した環境の中で読み聞かせさせて下さいと大人の方もその時に読書の習慣をと機会ごとにお話しさせていただいております。大人の絵本読み聞かせの部分というのも何かうまく出来れば面白いかなと感じは致します。

丸山委員 絵本の保育園貸出を行っていただいておりますが、以前は保育園の保護者参観に司書さんに来ていただいたこともあった。年1回ぐらいは保護者の集まる場所に来てお話をさせていただくという事も行っていただきたい。

荻原館長 子育て支援センターへは、4回やっぴまして保育園等への出張読み聞かせという部分で项目的には上がっているのですが、中々保育園側と図書館側の連絡が向こう側からこなかったり、また積極的にこちらから働きかけしていない部分もあつたりしてまた子ども育成課と、連絡をとりながら推進していきたいと思ひます。

西田委員 本も大事な教育ですが、大人は新聞から入っていくことが多いが、新聞を取っていない家庭もあると聞くが問題だと思ひます。小さなときから新聞を読むということの大切だと思ひます。子ども新聞も発刊されていますので、ぜひ、図書館でも子ども新聞を取っていただきたい。

荻原館長 子ども新聞についても検討をさせていただきたい。

宮崎委員 飯山子どもと本を読む会など子どもへの読み聞かせボランティアが1

団体となっている。小学校の読み聞かせは、年々機会が減ってきている。課題を出し合って学校図書館の雰囲気を変えるなど工夫をすることにより、親も動くのではないか。図書館司書との連携、ボランティア団体の活用など具体的な取り組みが必要ではないか。

荻原館長 学校図書館法というのが変わる中で、学校図書館の情報センター化という部分で、今後自分たちで調べる場所という位置づけになっていく。読書だけでなくいろいろの情報を得る形にして動いていく。これからはその為の研修など司書との連携をとりながら、また学校の先生方と連携して情報を得ながら進んでいければと思います。

鷺尾委員 集落サロンへ出前講座を行っているがどういう事をしているのか。

佐藤司書 本の読み聞かせや手遊びのようなこともおこなっています。

鷺尾委員 ほとんどが集落に行ってしまうことになるのか、図書館へ来てもらって行うことはできるのか。

荻原館長 集落サロンなど世話人さんがコーディネートしての部分になるので、そのひとつのメニューとして図書館の和室を借り、集落サロンの場として読み聞かせなど可能だと思います。それは、世話人さんのプログラムになると思います。

丸山委員 集落サロンの世話人さんは、どうしても前の年と同じようなプログラムになってしまう。

荻原館長 今年も外様の集落で利用されています。広報飯山2月号の図書館ニュースの中で集落サロンでの出張講座の紹介をさせていただいています。機会をとらえながら広報していきたいと思います。

西川委員 広報の中で、子どもたちに愛されている「機関車トーマス」や「ムーミン」の背景や裏話などを載せると興味がわいてくるのでは。

荻原館長 そのような話題があれば「わたしのおすすめ本」などで紹介したいと思います。

長瀬教育長 生後5カ月の子どもに本の贈呈はすべての対象者に渡っているのか。

荻原館長 4か月検診の時に図書館から出向いて、お母さん方に本の紹介しその中から本を選んでいただいて、5ヶ月目の第3日曜日のブックスタートに来ていただいている。なかなか小さいお子様なのでその日に来られない時は、翌月等のブックスタートの時に渡しをしている。

西田委員 5カ月の子どもの場合、日曜日の10時30分に来てくださいと言われても体調面もあり、むずかしいのでいつでも図書館のカウンターでもらえるようにできないか。

荻原館長 ブックスタートでは、絵本のプレゼントのほかに、絵本の選び方や絵本

とわらべうたの会の紹介をおこなっている。その時に都合が悪かった場合は、都合の良い日に渡せるようなアナウンスに心がけていきたい。

荻原館長　　大変ありがとうございました。

委員さんの方から出された貴重な意見また28年度事業の中で対応させていただきたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。以上をもちまして図書館協議会を終了させていただきたいと思います。ありがとうございました。